

## 平成26年度当初予算知事査定ヒアリング資料

部局名：警察本部

No	細事業名	事業費	ページ
1	警察署庁舎整備事業	420,531千円	1
	子ども見守り事業	21,125千円	7
	チャイルドガーディアンみえ推進事業	25,060千円	13
合 計		466,716千円	

平成25年度事業マネジメントシート（事務事業）

担当課 警察本部 警務部会計課

1 事業概要

細事業名	警察署庁舎整備費					区分	継続	
施策	131	犯罪に強いまちづくり						
基本事業	13105	県民の安全を守る活動基盤の整備						
		目標項目	24年度実績値		27年度目標値			
		交番・駐在所施設の充実度	40.0%		43.0%			
選択・集中								
重点化施策								
根拠 (法令等)	警察法第37条							
予算額等	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	予算額 (千円)		3,000千円	5,725千円				
	決算額 (千円)	21,284千円	2,369千円					
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 老朽化、狭あい化の著しい警察署について、県民の利便性のほか事件・事故の発生状況、管轄人口等、地域情勢の変化を十分考慮し、治安活動拠点や東日本大震災の状況を踏まえた災害警備活動の拠点としての立地・機能を総合的に判断した上で建て替え整備を推進します。</li> </ul>							
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 治安維持活動拠点及び災害警備活動拠点としての機能充実はもとより、事件・事故への迅速な対応、多目的ホールや警察安全相談室の設置による来庁者の利便性やプライバシーに配慮した施設づくりを行い、日常生活の中で遭遇する可能性のあるさまざまなリスクに対して、県民の暮らしを守るという視点から地域、行政等の関係機関と一体となって備えることのできる社会づくりを推進します。</li> </ul>							
前年度からの変更点	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 四日市北警察署を建て替え整備するため、昨年度実施した都市計画法等の各種法規制やインフラ状況等の調査等に基づき、移転候補地の測量業務や鑑定評価委託等を実施します。</li> </ul>							
事業の必要性と期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 老朽化、狭あい化が著しく県民の利便性に支障を及ぼしていた施設を建て替え整備することにより、県民の利便性が向上する上、治安維持活動及び災害警備活動の拠点としての機能強化を図ることができます。</li> </ul>							

## 2 取組詳細

取組概要	● 四日市北警察署移転候補地の用地測量、鑑定等の業務委託を実施します。
取組内容等	

- **警察署庁舎整備にかかる調査 5,725 千円 (5,725 千円)**  
移転候補地の用地測量、土地鑑定、工作物・立竹木等の調査・積算を実施します。  
今後の事業工程といたしましては、
  - ・平成26年度 用地購入、地質調査、造成・建築設計等
  - ・平成27年度 建築設計、造成工事等
  - ・平成28～29年度 庁舎建設工事等を予定しております。



現四日市北警察署（昭和46年度建設）

## 3 中間進捗情報

成果と残された課題
● 移転候補地の用地測量、土地鑑定等を実施するとともに、翌年度の用地取得に向けた諸準備を推進しています。
下半期（翌年度）に向けた改善のポイントと取組方向
〔下半期〕 ● 移転候補地の工作物や立竹木に関する調査を実施します。 〔翌年度〕 ● 移転先の用地交渉・購入等を行い造成、建築設計等を行います。

## 4 年間実施結果

取組結果
------

成果と残された課題	
	(1) 成果
	(2) 課題
総	見直しの視点
	<input type="checkbox"/> 事業目的の妥当性 <input type="checkbox"/> 県関与の必要性 <input type="checkbox"/> 手段の有効性 <input type="checkbox"/> 手段の効率性 <input type="checkbox"/> 緊要性 <input type="checkbox"/> 該当なし
合	見直しの方向
	<input type="checkbox"/> 廃止(廃止) <input type="checkbox"/> 廃止(民営化) <input type="checkbox"/> 廃止(国へ移譲) <input type="checkbox"/> 廃止(市町へ移譲) <input type="checkbox"/> 廃止(休止) <input type="checkbox"/> 見直し・縮小(要改善) <input type="checkbox"/> 統合化(要改善) <input type="checkbox"/> 終期設定(要改善) <input type="checkbox"/> 現行通り <input type="checkbox"/> 拡充
判	民間活力の活用
	<input type="checkbox"/> 人材派遣 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> P F I 等 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> 地方独立行政法人 <input type="checkbox"/> 現行通り
断	今後に向けた改善のポイントと取組方向
	(1) 見直しの視点・方向、民間活力の活用の判断理由  (2) 課題への対応

平成26年度事業マネジメントシート（事務事業）

担当課 警察本部 警務部会計課

1 事業概要

細事業名	警察署庁舎整備費					区分	継続	
施策	131	犯罪に強いまちづくり						
基本事業	13105	県民の安全を守る活動基盤の整備						
		目標項目	25年度実績値		27年度目標値			
		交番・駐在所の充実度			43.0%			
選択・集中								
重点化施策								
根拠 (法令等)	警察法第37条							
予算額等	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	予算額		3,000千円	5,725千円	千円			
	決算額	21,284千円	2,369千円					
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 老朽化、狭あい化の著しい警察署について、県民の利便性のほか事件・事故の発生状況、管轄人口等、地域情勢の変化を十分考慮し、治安活動拠点や東日本大震災の状況を踏まえた災害警備活動の拠点としての立地・機能を総合的に判断した上で建て替え整備を推進します。</li> </ul>							
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 治安維持活動拠点及び災害警備活動拠点としての機能充実はもとより、事件・事故への迅速な対応、多目的ホールや警察安全相談室の設置による来庁者の利便性やプライバシーに配慮した施設づくりを行い、日常生活の中で遭遇する可能性のあるさまざまなリスクに対して、県民の暮らしを守るという視点から地域、行政等の関係機関と一体となって備えることのできる社会づくりを推進します。</li> </ul>							
前年度からの変更点	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 平成25年度に実施した四日市北警察署移転候補地の測量業務や土地鑑定評価等の結果を踏まえ、移転先の用地交渉・購入等を行い造成、建築設計等を行います。</li> </ul>							
事業の必要性と期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 老朽化、狭あい化が著しく県民の利便性に支障を及ぼしていた施設を建て替え整備することにより、県民の利便性が向上する上、治安維持活動及び災害警備活動の拠点としての機能強化を図ることができます。</li> </ul>							

## 2 取組詳細

取組概要	● 四日市北警察署移転先の用地交渉・購入等を行い造成、建築設計等を行います。
取組内容等	

### ● 警察署庁舎整備事業 420,531千円(106,531千円)

移転先の用地交渉・購入、地形測量、造成工事設計、建築設計等を実施します。

今後の事業工程といたしましては、

- ・平成27年度 建築設計、造成工事等
- ・平成28～29年度 庁舎建設工事等

を予定しております。



現四日市北警察署（昭和46年度建設）

## 3 中間進捗情報

成果と残された課題
下半期（翌年度）に向けた改善のポイントと取組方向
〔下半期〕  〔翌年度〕

## 4 年間実施結果

取組結果
------

成果と残された課題	
	(1) 成果
	(2) 課題
総	見直しの視点
	<input type="checkbox"/> 事業目的の妥当性 <input type="checkbox"/> 県関与の必要性 <input type="checkbox"/> 手段の有効性 <input type="checkbox"/> 手段の効率性 <input type="checkbox"/> 緊要性 <input type="checkbox"/> 該当なし
合	見直しの方向
	<input type="checkbox"/> 廃止(廃止) <input type="checkbox"/> 廃止(民営化) <input type="checkbox"/> 廃止(国へ移譲) <input type="checkbox"/> 廃止(市町へ移譲) <input type="checkbox"/> 廃止(休止) <input type="checkbox"/> 見直し・縮小(要改善) <input type="checkbox"/> 統合化(要改善) <input type="checkbox"/> 終期設定(要改善) <input type="checkbox"/> 現行通り <input type="checkbox"/> 拡充
判	民間活力の活用
	<input type="checkbox"/> 人材派遣 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> P F I 等 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> 地方独立行政法人 <input type="checkbox"/> 現行通り
断	今後に向けた改善のポイントと取組方向
	(1) 見直しの視点・方向、民間活力の活用の判断理由  (2) 課題への対応

平成25年度事業マネジメントシート（事務事業）

担当課 警察本部 生活安全部生活安全企画課

1 事業概要

細事業名	子ども見守り事業費					区分	継続	
施策	131	犯罪に強いまちづくり						
基本事業	13101	みんなで進める犯罪に強いまちづくりの推進						
		目標項目	24年度実績値		27年度目標値			
		街頭犯罪等の認知件数	3,458件		3,200件以下			
選択・集中								
重点化施策	重点	-						
根拠 (法令等)								
予算額等	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	予算額 (千円)		0	19,152千円				
	決算額 (千円)	0	0					
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 子どもが被害者となる凶悪犯罪が全国で相次いで発生したほか、県内においても、凶悪犯罪の前兆とも言える、子どもへの声掛け、つきまとい事案が高水準で発生していることから、学校、学習塾等が集中する地区の見守り機能を強化し、子どもを犯罪被害から守る環境を整備します。</li> </ul>							
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 子どもの見守り機能を強化するため、新たな防犯装置である街頭緊急警報装置を整備し、子どもを犯罪被害等から守ります。</li> </ul>							
前年度からの変更点								
事業の必要性と期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 平成24年9月、愛知県及び広島県において小学生女児が略取・監禁される事件が発生したほか、これら犯罪の前兆事案といわれる子どもを対象とする声掛け、つきまとい等の不審者情報は依然として高水準で推移しています。これらの犯罪等から子どもを守るため、街頭緊急警報装置を整備することで、子どもが犯罪に遭いにくい公共空間を確保します。</li> </ul>							

## 2 取組詳細

取組概要	● 子どもの見守り機能を強化するため、学校、学習塾等が数多く集中する地区に新たな防犯装置である街頭緊急警報装置を整備し、子供を犯罪被害から守ります。
取組内容等	

### ● 街頭緊急警報装置の整備（鈴鹿地区及び松阪地区）

19,152 千円(1,152 千円)

新たな防犯装置である街頭緊急警報装置の設置に当たっては、犯罪発生状況や不審者情報の分析結果、学校、教育委員会、市町等の関係機関との協議結果及び地域住民の意見・要望等を踏まえ、より見守り効果の高い箇所を選定します。



## 3 中間進捗情報

### 成果と残された課題

#### ● 鈴鹿地区（平田地区）

6月5日 鈴鹿市役所地域課、市教育委員会及び鈴鹿警察署との事前協議の実施

8月6日 鈴鹿市役所地域課、市教育委員会との事前協議(2回目)の実施

8月23日 住民説明会の開催

※ 設置箇所については、関係機関との協議及び地元住民による意見・要望のほか、通学路や不審者情報の多発箇所等を考慮し、既設8基中3基を移設することとしました。

<ul style="list-style-type: none"> <li>● 松阪地区（松阪駅前、愛宕、上川及び米之庄地区） <ul style="list-style-type: none"> <li>6月25日 松阪市役所安全防災課、市教育委員会及び松阪警察署との事前協議の実施</li> <li>7月4日 鈴鹿市自治会連合会事務局との事前協議の実施</li> <li>9月中 街頭緊急警報装置の更新、移設に係る9地区の自治会長宅に個別訪問し、事業及び更新、移設箇所の説明を実施</li> </ul> </li> <li>※ 設置箇所については、関係機関及び地元住民による意見・要望のほか、通学路や不審者情報の多発箇所を考慮し、既設8基中2基を移設することとしました。</li> </ul>
<b>下半期（翌年度）に向けた改善のポイントと取組方向</b>
<p>〔下半期〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 平成26年2月当初より、鈴鹿地区及び松阪地区の工事を開始し、3月下旬ころ運用を開始します。</li> </ul> <p>〔翌年度〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 強制わいせつ事件の発生や声掛け、つきまとい事案等の不審者情報が数多く認められる津地区及び伊勢地区に、街頭緊急警報装置を設置し、子どもの見守り機能を強化したいと考えております。</li> </ul>

#### 4 年間実施結果

##### 取組結果

<b>成果と残された課題</b>	
(1) 成果	
(2) 課題	
総合判断	<b>見直しの視点</b>
	<input type="checkbox"/> 事業目的の妥当性 <input type="checkbox"/> 県関与の必要性 <input type="checkbox"/> 手段の有効性 <input type="checkbox"/> 手段の効率性 <input type="checkbox"/> 緊要性 <input type="checkbox"/> 該当なし
	<b>見直しの方向</b>
	<input type="checkbox"/> 廃止(廃止) <input type="checkbox"/> 廃止(民営化) <input type="checkbox"/> 廃止(国へ移譲) <input type="checkbox"/> 廃止(市町へ移譲) <input type="checkbox"/> 廃止(休止) <input type="checkbox"/> 見直し・縮小(要改善) <input type="checkbox"/> 統合化(要改善) <input type="checkbox"/> 終期設定(要改善) <input type="checkbox"/> 現行通り <input type="checkbox"/> 拡充
	<b>民間活力の活用</b>
<input type="checkbox"/> 人材派遣 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> P F I 等 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> 地方独立行政法人 <input type="checkbox"/> 現行通り	
判断	<b>今後に向けた改善のポイントと取組方向</b>
	<p>(1) 見直しの視点・方向、民間活力の活用の判断理由</p> <p>(2) 課題への対応</p>

平成26年度事業マネジメントシート（事務事業）

担当課 警察本部 生活安全部生活安全企画課

1 事業概要

細事業名		子ども見守り事業費					区分	継続
施策		131	犯罪に強いまちづくり					
基本事業		13101	みんなで進める犯罪に強いまちづくりの推進					
		目標項目		25年度実績値		27年度目標値		
		街頭犯罪等の認知件数				3,200件以下		
選択・集中								
重点化施策		重点	-					
根拠 (法令等)								
予算額等	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	予算額		0	19,152千円	千円			
	決算額	0	0					
事業の目的		<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもが被害者となる凶悪犯罪が全国で相次いで発生しているほか、県内においても、強制わいせつ事件の増加や凶悪犯罪の前兆とも言える、子どもへの声掛け、つきまとい事案が高水準で発生していることから、昨年度に引き続き、子どもの見守り機能を強化し、子どもを犯罪被害から守る環境を整備します。</li> </ul>						
事業目標		<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの見守り機能を強化するため、新たな防犯装置である街頭緊急警報装置を整備し、子どもを犯罪被害等から守ります。</li> </ul>						
前年度からの変更点		<ul style="list-style-type: none"> <li>設置地区の変更</li> </ul>						
事業の必要性と期待される効果		<ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年6月、東京都練馬区で小学生が刃物で切りつけられる事件や、同年8月には県内でも女子中学生が殺害される凶悪な事件が発生したほか、これら凶悪犯罪の前兆事案といわれる声掛け、つきまとい等の不審者情報は依然として高水準で推移しています。これらの犯罪等から子どもを守るため、街頭緊急警報装置を整備することで、子どもを見守る環境を強化し、子どもが犯罪に遭いにくい公共空間を確保します。</li> </ul>						

## 2 取組詳細

取組概要	● 子どもの見守り機能を強化するため、強制わいせつや不審者情報が数多く認められる津地区及び伊勢地区に新たな防犯装置である街頭緊急警報装置を整備し、子どもの安全を見守る環境の強化を図ります。
取組内容等	

### ● 街頭緊急警報装置の整備（津地区及び伊勢地区）

21,125千円(7,125千円)

新たな防犯装置である街頭緊急警報装置の設置に当たっては、犯罪発生状況や不審者情報の分析結果、学校、教育委員会、市町等の関係機関との協議結果及び地域住民の意見・要望等を踏まえ、より見守り効果の高い箇所を選定し、整備を図ります。



## 3 中間進捗情報

成果と残された課題

--

下半期（翌年度）に向けた改善のポイントと取組方向	
〔下半期〕	
〔翌年度〕	

#### 4 年間実施結果

##### 取組結果

成果と残された課題	
	<p>(1) 成果</p> <p>(2) 課題</p>
総合判断	見直しの視点
	<input type="checkbox"/> 事業目的の妥当性 <input type="checkbox"/> 県関与の必要性 <input type="checkbox"/> 手段の有効性 <input type="checkbox"/> 手段の効率性 <input type="checkbox"/> 緊要性 <input type="checkbox"/> 該当なし
	見直しの方向
	<input type="checkbox"/> 廃止(廃止) <input type="checkbox"/> 廃止(民営化) <input type="checkbox"/> 廃止(国へ移譲) <input type="checkbox"/> 廃止(市町へ移譲) <input type="checkbox"/> 廃止(休止) <input type="checkbox"/> 見直し・縮小(要改善) <input type="checkbox"/> 統合化(要改善) <input type="checkbox"/> 終期設定(要改善) <input type="checkbox"/> 現行通り <input type="checkbox"/> 拡充
	民間活力の活用
	<input type="checkbox"/> 人材派遣 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> P F I 等 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> 地方独立行政法人 <input type="checkbox"/> 現行通り
判断	今後に向けた改善のポイントと取組方向
	<p>(1) 見直しの視点・方向、民間活力の活用の判断理由</p> <p>(2) 課題への対応</p>

平成26年度事業マネジメントシート（事務事業）

担当課 警察本部 生活安全部少年課

1 事業概要

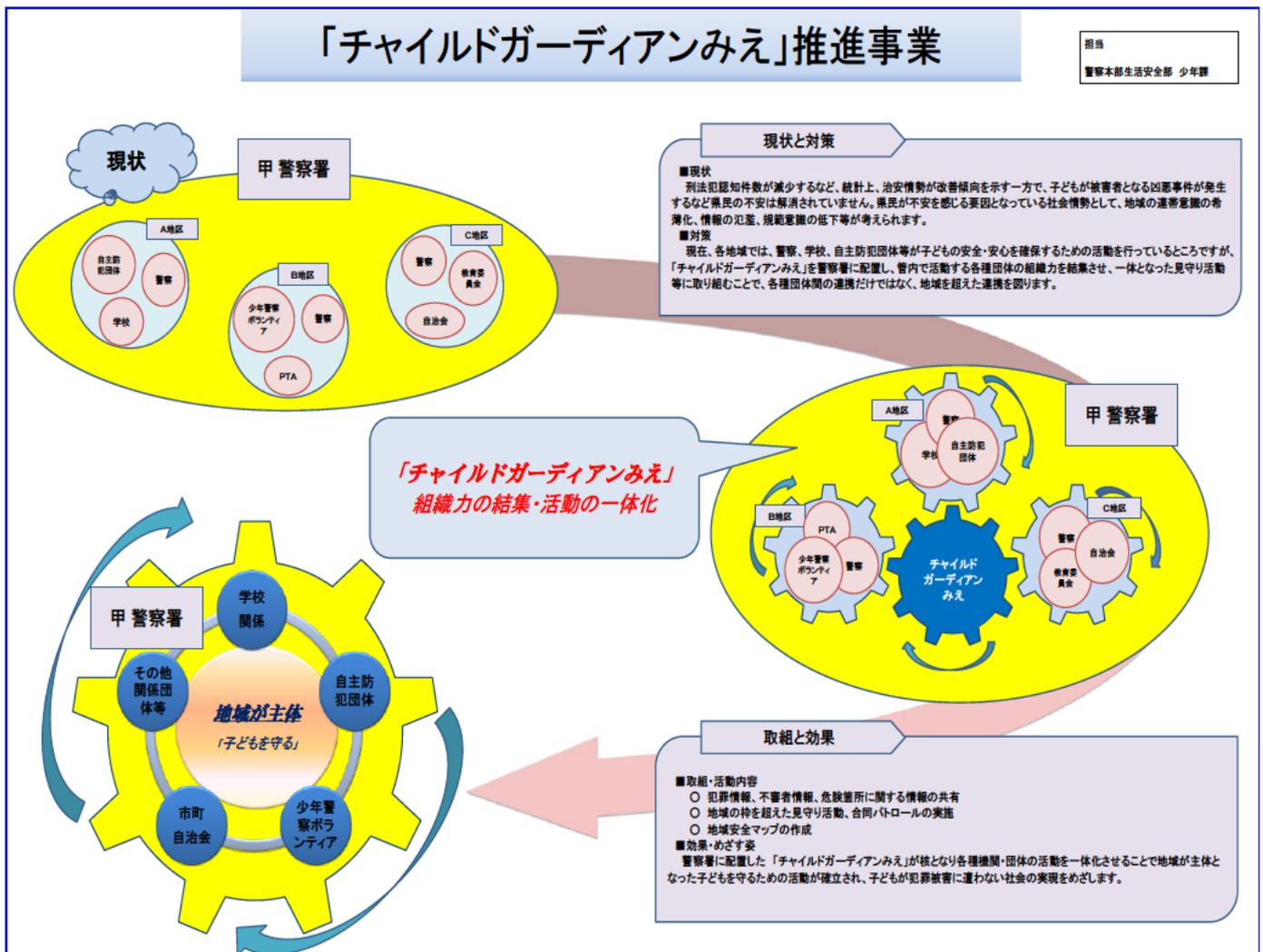
細事業名		チャイルドガーディアンみえ推進事業費					区分	新規	
施策		131	犯罪に強いまちづくり						
基本事業		13101	みんなで進める犯罪に強いまちづくりの推進						
			目標項目	25年度実績値		27年度目標値			
			街頭犯罪等の認知件数			3,200件以下			
選択・集中									
重点化施策									
根拠 (法令等)									
予算額等	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度			
	予算額		0千円	0千円	千円				
	決算額	0千円	0千円						
事業の目的		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 犯罪被害から児童生徒を守るため、警察と学校、関係機関・団体との連携を強化し、統一的な活動を促進する「チャイルドガーディアンみえ」を警察署に配置し、不審者情報等の周知、合同パトロール、見守り活動等の一層の充実を図ります。</li> </ul>							
事業目標		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 現在、各地域では、警察、学校、自主防犯団体等が子どもの安全・安心を確保するため活動しているところですが、「チャイルドガーディアンみえ」を警察署に配置し、管内で活動する各種団体の組織力を結集させ、一体となった見守り活動等に取り組むことで、各種団体間の連携だけではなく、地域を超えた連携を図り、子どもが犯罪被害に遭わない社会を実現します。</li> </ul>							
前年度からの変更点									
事業の必要性と期待される効果		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 三重郡朝日町地内における女子中学生強盗殺人事件の発生や全国的に子どもが被害に遭う事件が発生している現状を踏まえ、地域ボランティアや学校、教育委員会、警察等の関係機関が、児童生徒の安全を守る活動を統一的に行うことが必要です。</li> <li>● 「チャイルドガーディアンみえ」がオーガナイズし、組織力を結集することで児童生徒の安全を守る活動が統一化され、児童生徒の安全確保が図られます。</li> </ul>							

## 2 取組詳細

取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 警察と学校、関係機関・団体との連携を強化し、統一的な活動を促進する「チャイルドガーディアンみえ」を警察署に配置し、不審者情報等の周知、合同パトロール、見守り活動等の一層の充実を図り、犯罪被害から児童生徒を守ります。</li> </ul>
取組内容等	

### ● チャイルドガーディアンの配置 25,060千円 (25,060千円)

- (1) 児童生徒の安全確保を図る取組を促進するため、「チャイルドガーディアンみえ」により、学校、教育委員会、各種ボランティア組織等の統一的な活動を促進するため、情報共有、協働活動等の計画と実施、助言、指導等を行います。
- (2) 児童生徒の間で急速に普及しているスマートフォン及び無料通信アプリ等に関する児童生徒等からの相談に「チャイルドガーディアンみえ」が対応し、助言、指導等を行います。



### 3 中間進捗情報

成果と残された課題
下半期（翌年度）に向けた改善のポイントと取組方向
〔下半期〕
〔翌年度〕

### 4 年間実施結果

取組結果	
成果と残された課題	
(1) 成果	
(2) 課題	
総 合 判 断	見直しの視点
	<input type="checkbox"/> 事業目的の妥当性 <input type="checkbox"/> 県関与の必要性 <input type="checkbox"/> 手段の有効性 <input type="checkbox"/> 手段の効率性 <input type="checkbox"/> 緊要性 <input type="checkbox"/> 該当なし
	見直しの方向
	<input type="checkbox"/> 廃止(廃止) <input type="checkbox"/> 廃止(民営化) <input type="checkbox"/> 廃止(国へ移譲) <input type="checkbox"/> 廃止(市町へ移譲) <input type="checkbox"/> 廃止(休止) <input type="checkbox"/> 見直し・縮小(要改善) <input type="checkbox"/> 統合化(要改善) <input type="checkbox"/> 終期設定(要改善) <input type="checkbox"/> 現行通り <input type="checkbox"/> 拡充
	民間活力の活用
	<input type="checkbox"/> 人材派遣 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> P F I 等 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> 地方独立行政法人 <input type="checkbox"/> 現行通り
	今後に向けた改善のポイントと取組方向
	(1) 見直しの視点・方向、民間活力の活用の判断理由
	(2) 課題への対応